

日本心理学会「注意と認知」研究会 第10回合宿研究会プログラム

3/18	受付	13:30-14:30	
	個人差	14:30-15:00	1 自閉症児と知的障害児における明るさ補完の比較 吉本美穂(似島学園)・宮谷真人(広島大学)
		15:00-15:30	2 CHRNA4遺伝子と空間的注意機能の関連の課題特異性 菊野雄一郎(京都大学)・松永哲郎(京都大学)・齋木 潤(京都大学)
		15:30-16:00	3 ワーキングメモリの個人差が高齢者の転倒回避動作に及ぼす影響 石松一真(滋慶医療科学大学院大学)・東郷史治(東京大学)・大西明宏(労働安全衛生総合研究所)
	情動と注意	16:15-16:45	4 課題非関連な笑顔による視覚探索の促進 上田祥行(京都大学)・吉川左紀子(京都大学)
		16:45-17:15	5 高不安者は課題関連の脅威刺激処理を抑制する 伊丸岡俊秀(金沢工業大学)・國見充展(金沢工業大学)・松田幸久(富山大学)・松本 圭(金沢工業大学)・松井三枝(富山大学)・西条寿夫(富山大学)
	特別講演	17:30-18:30	20 基礎心理学と臨床心理学の協調 ―妄想的観念の認知行動モデルを例に― 丹野義彦(東京大学)
	懇親会		
3/19	感覚間相互作用	09:30-10:00	6 視覚と聴覚のバイディング課題における時間限界の比較 金谷翔子(東京大学)・藤崎和香(産業技術総合研究所)・西田眞也(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)・横澤一彦(東京大学)
		10:00-10:30	7 視聴覚事象の一過的提示による聴覚の交差・反発知覚の変容 安原秀和(神戸大学)・喜多伸一(神戸大学)
	競合と抑制	10:30-11:00	8 競合頻度の情報が適合性効果の変動に及ぼす影響 蔵富 恵(愛知淑徳大学)・吉崎一人(愛知淑徳大学)
		11:00-11:30	9 社会的サイモン効果における刺激の分担の影響 西村聡生(上智大学)・道又 爾(上智大学)
	昼食(各自)・運営委員会		
	文脈効果	13:30-14:00	10 時空間的文脈手がかり効果のメカニズム: 眼球運動による検討 樋口洋子(京都大学)・小川洋和(関西学院大学)・上田祥行(京都大学)・齋木 潤(京都大学)
		14:00-14:30	11 反復探索下で保持される刺激配置の選択的表象 正田真利恵(東京大学)・横澤一彦(東京大学)
		14:30-15:00	12 目標出現位置の確率と反復による注意の手がかり効果 嘉幡貴至(神戸大学)・松本絵理子(神戸大学)
	視線	15:15-15:45	13 注視時間の偏りが選好判断に与える影響 田根健吾(上智大学)・道又 爾(上智大学)
		15:45-16:15	14 直視処理の無意識成分 横山武昌(神戸大学)・野口泰基(神戸大学)・喜多伸一(神戸大学)
		16:15-16:45	15 視覚探索に対する頭部方向の影響 中島亮一(東北大学)・塩入 諭(東北大学)
	代表講演	16:45-17:15	21 「注意と認知」から「統合的認知」へ 横澤一彦(東京大学)
	夕食(各自)		
3/20	空間的注意	09:30-10:00	16 マングのスピード線が視覚的注意に及ぼす影響 林 聖将(東京大学)・松田 剛(東京大学)・玉宮義之(東京大学)・開 一夫(東京大学)
		10:00-10:30	17 パーソナルコンピュータを用いた眼球運動計測 十河宏行(愛媛大学)
	シーンとオブジェクト	10:30-11:00	18 シーン内の視覚探索におけるオブジェクトの記憶表象 井上和哉(筑波大学)・武田裕司(産業技術総合研究所)
		11:00-11:30	19 日常物体の好ましさの不変性 新美亮輔(東京大学)・渡邊克巳(東京大学)